

## 第2期データヘルス計画中間評価

### 1 趣旨

平成30年度に「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を目指し、第2期 磐田市データヘルス計画を策定し推進してきた。

今年度は3年目を迎え、現行計画の施策や事業を見直す時期となり、今後さらなる改善のため指標や目標の検討を行った。

### 2 中間評価による見直し

現計画では、計画全体の目標として掲げている「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」について、具体的な評価指標が定められていなかった。したがって、今回の中間評価において、「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」の評価指標として下記の2項目を新たに追加した。

具体的な評価指標を定めることで計画全体の成果を計り、更なる「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を目指す。

#### 【見直し前】

評価指標なし

#### 【見直し後】

指標		目標値	ベースライン	H29	H30	H31
健康寿命の延伸と 健康格差の縮小	第2号被保険者の要介護認定率 の増加の抑制	0.38%	0.33%	0.30%	0.32%	0.33%
	お達者な人の割合の増加	92.70%	92.20%	92.30%	92.55%	92.85%

### 3 各指標の進捗および評価

別紙「データヘルス計画の評価・見直し整理表」を参照

### 4 最終評価に向けて

現状の保健事業の成果が「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」の結果に結びついて  
いるため引き続き健診受診率向上や重症化予防事業を推進する。

今後、健診や医療費のデータ分析し各事業の評価をすることで効果的かつ効率的な保健  
事業に繋げていく。